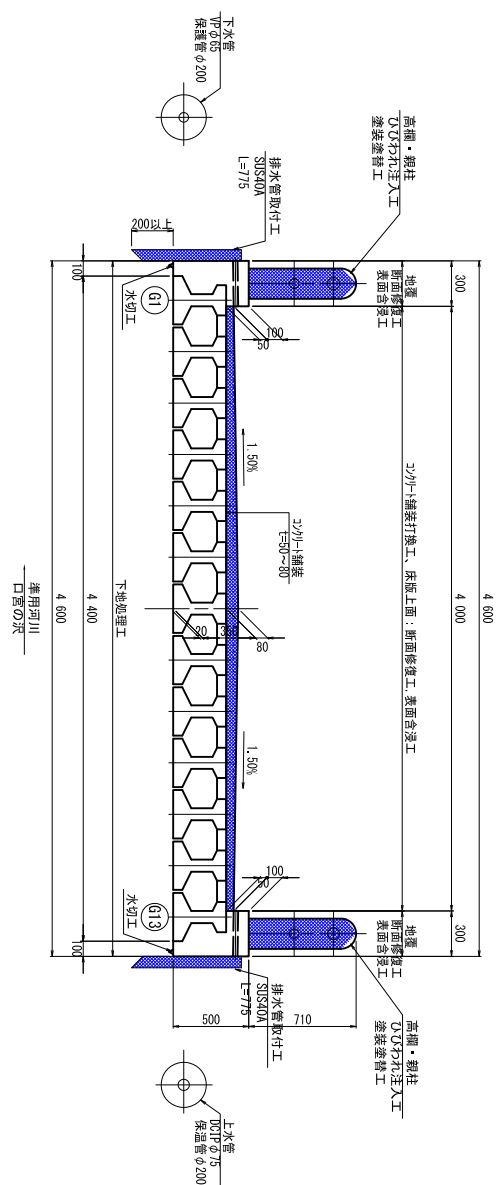
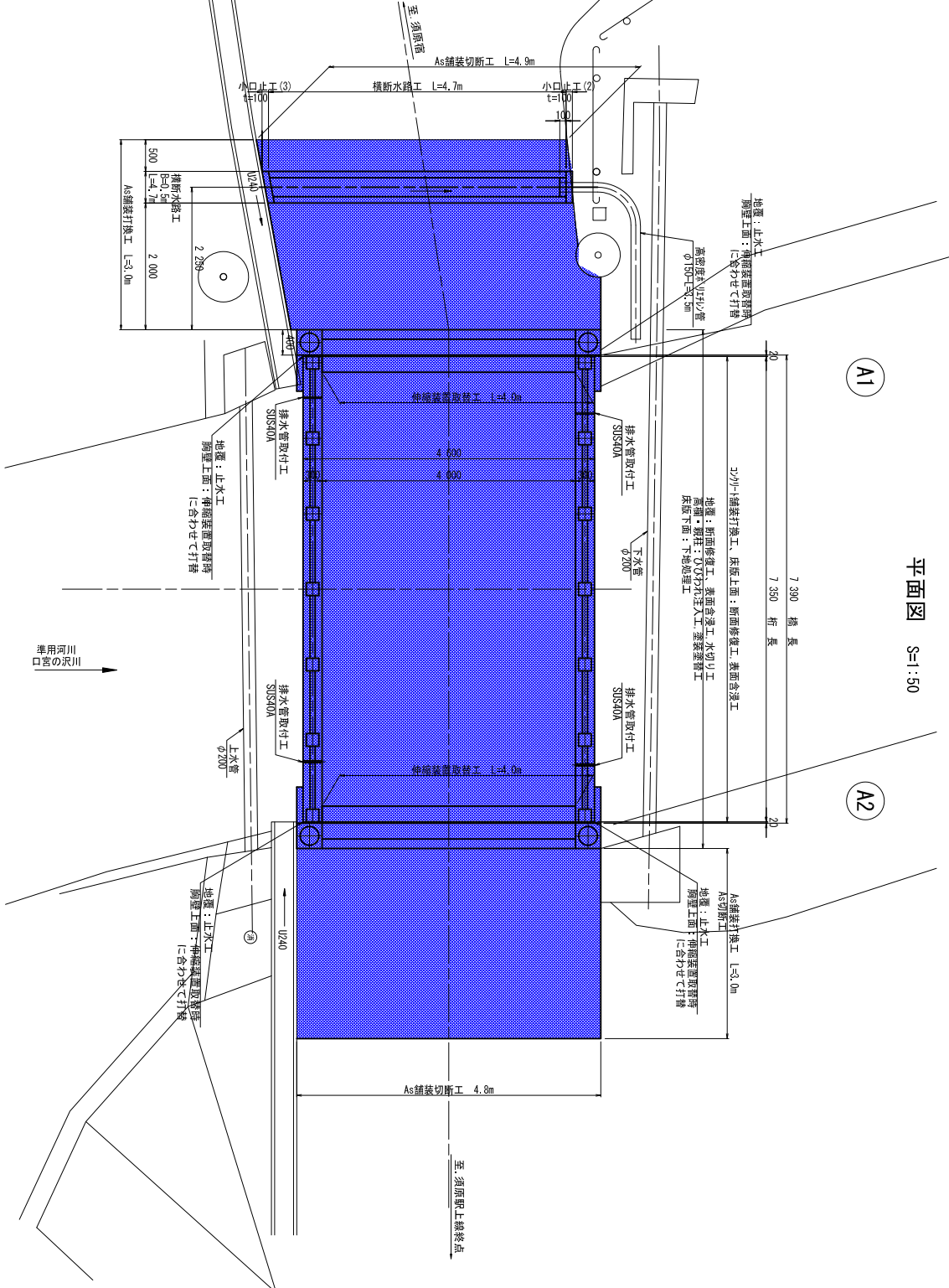
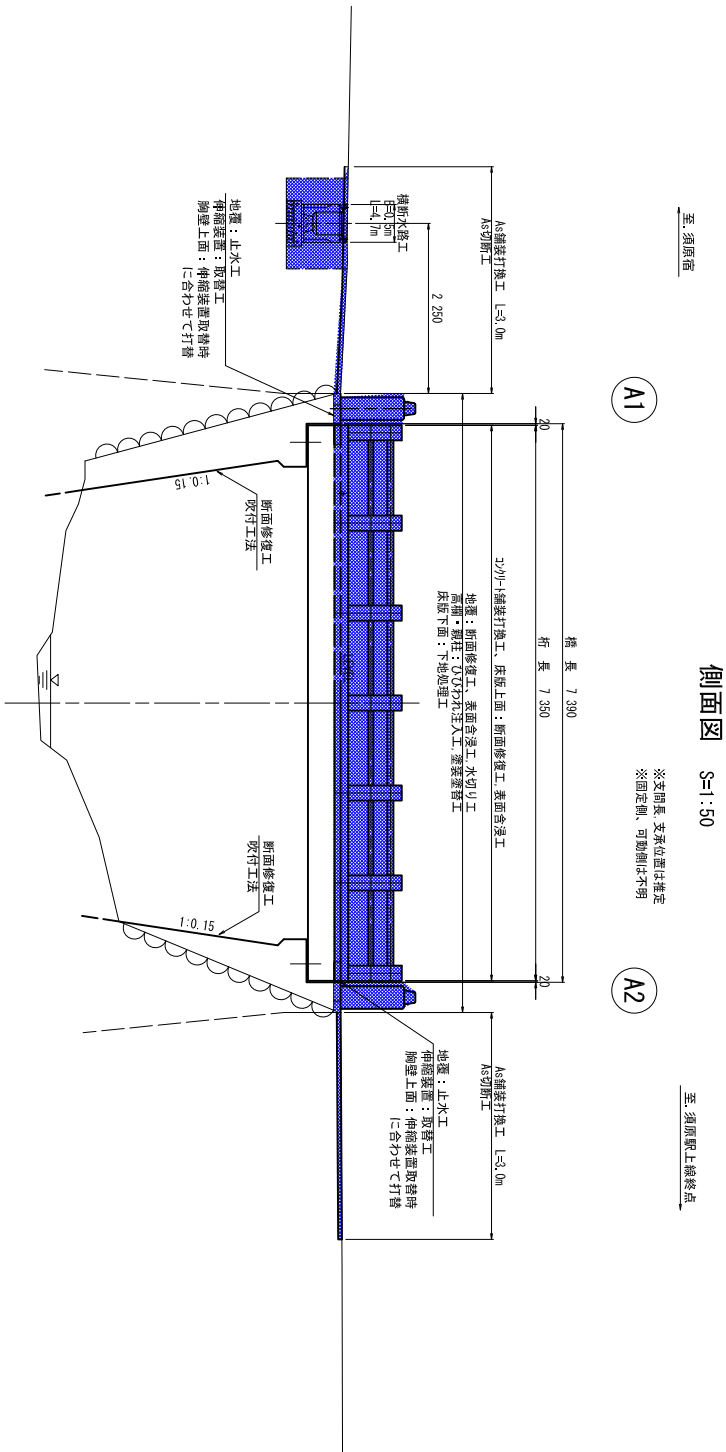


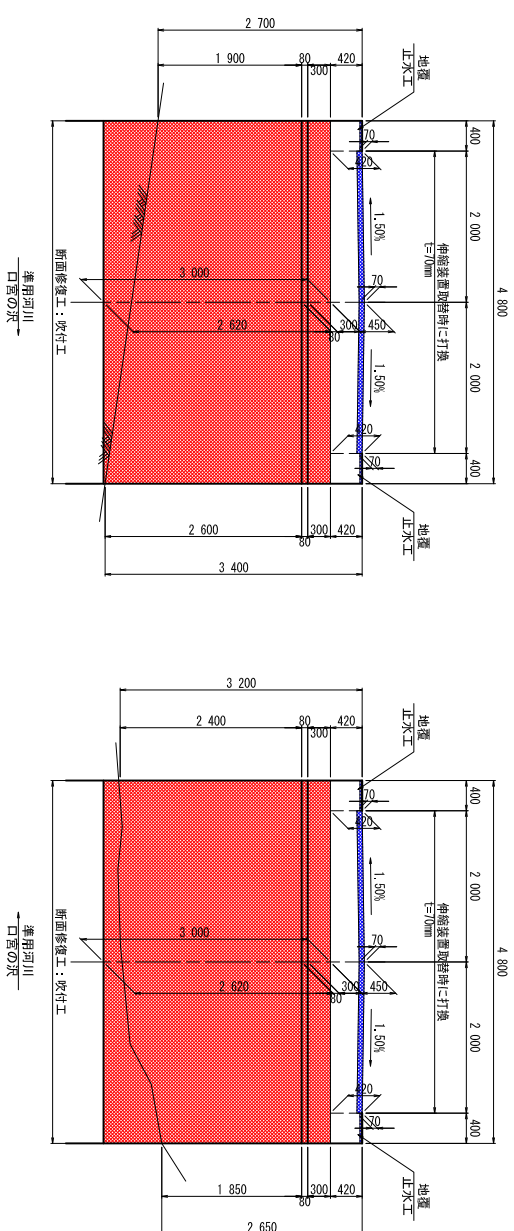
図画計画補修 口宮の沢橋

上部工断面図 S=1:25



A1橋台

下部工正面図 S=1:50



A2橋台

補修項目一覽表

部位	部材	補修工種	補修項目	
上部工	舗装	舗装打換工	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装切削 t=5～8cm 超早強有機繊維補強ｺﾝｸﾘｰﾄ	
		床版上面	断面修復工	左官工法(はつり+ﾎﾟﾘｰﾔｰﾓﾝﾄﾞ)
			表面含浸工	下地処理、含浸材塗布(ﾘﾝｸﾞ系)
		地覆	断面修復工	左官工法(はつり+ﾎﾟﾘｰﾔｰﾓﾝﾄﾞ)
			表面含浸工	下地処理、含浸材塗布(高分子系)
	橋面	水切工	後接着型水切材貼付け	
		ひびわれ、注入工	注入工法	
		高欄、親柱	差装差替 (RcⅡ差装系)	
		伸縮装置	伸縮装置取替工	鋼製、非排水型(地覆端部止水含む)
		排水装置	排水管取付工	排水管取付
橋体	床版	下地処理工	下面：遊離石灰灰除去清掃	
	橋台	ひびわれ、注入工	注入工法：打継目	
下部工	橋台	断面修復工	吹付工法(はつり+配筋+ﾘﾝｸﾞ+添加ﾎﾟﾘｰﾔｰﾓﾝﾄﾞ吹付)	
付帯工	取付道路	舗装打換工	As舗装t=5cm切斷、撤去、路盤材増敷設+As舗装t=5cm	
付帯工	起点側	横断水路工	横断水路設置、全面ｸﾞｰﾝｰﾔｰｸﾞ蓋	

会場制約事項 1. 上・下大庭、上下5段階地下道利用あり 2. 座席指定なし 3. 飲食・飲酒不可 4. 作業不可時間(出来期)		有リ 無し
令和8年度 口屋の栄橋修繕工事 令和8年度 口屋の栄橋修繕工事 令和8年度 口屋の栄橋修繕工事		有リ 無し

口宮の沢橋 下部工補修図(1) S=1:50

断面修復工(吹付工法:はつり工)

※躯体背面勾配は推定

A1橋台

上流側
側面図

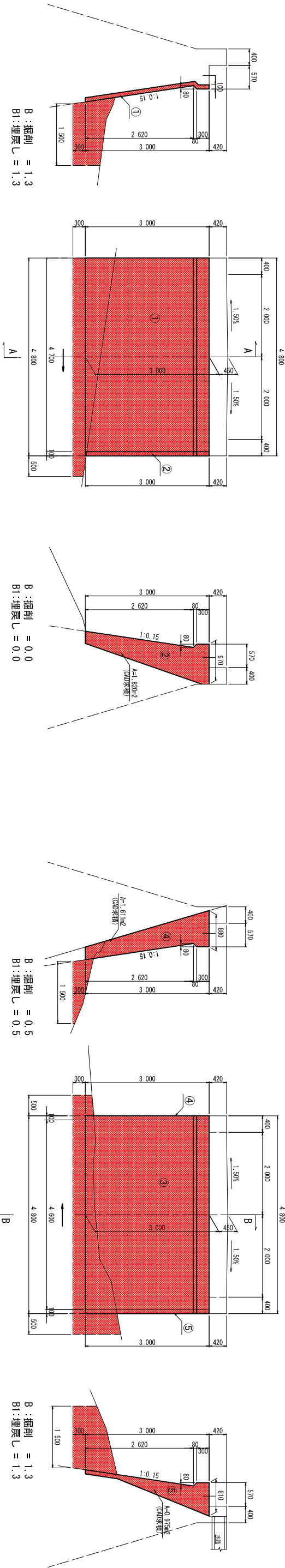
正面図

下流側
側面図

下流側
側面図

正面図

上流側
側面図

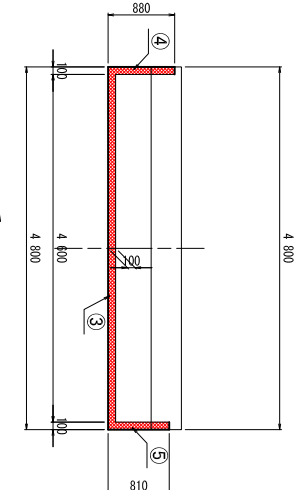
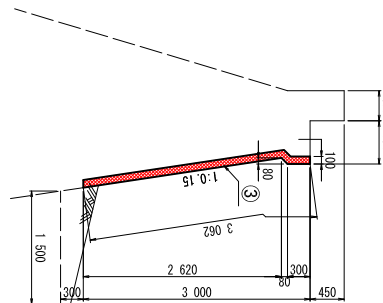
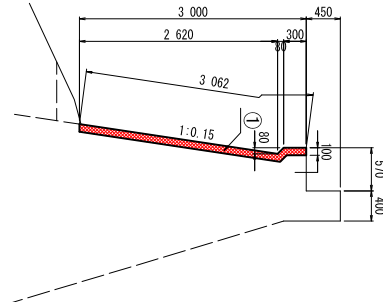
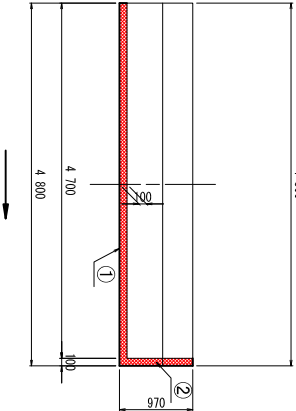


A - A

B - B

平面図

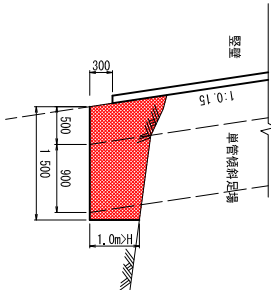
平面図



はつり工数量表

記号	計算式 m	面積 m ²	厚さ m	体積 m ³
①	3,062 × 4,700	14,391	0,100	1,439
②		1,820	0,100	0,182
③	3,062 × 4,600	14,085	0,100	1,409
④		1,611	0,100	0,161
⑤		0,975	0,100	0,098
合計		32,882		3,289

土工
掘削範囲



※護岸工境界・堅壁下面は、カタマ一目地を入れること

※はつり吹付範囲は、現地を計測し、監督員と協議の上決定すること

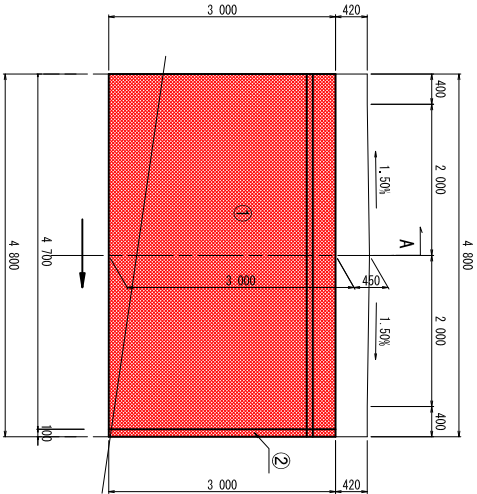
実施図

令和8年度 口宮の沢橋補修工事	2 / 7	下部工補修図(1)	図示
村道須原上線 口宮の沢橋			
大桑村 大桑村 大字須原			
設計会社 測量会社			
調査会社			
大桑村役場			

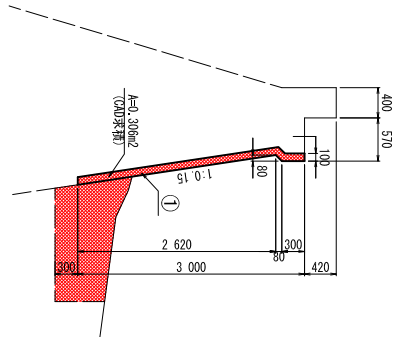
口宮の沢橋 下部工補修図(2) S=1:50

A1橋台

正面図



上流側
側面図

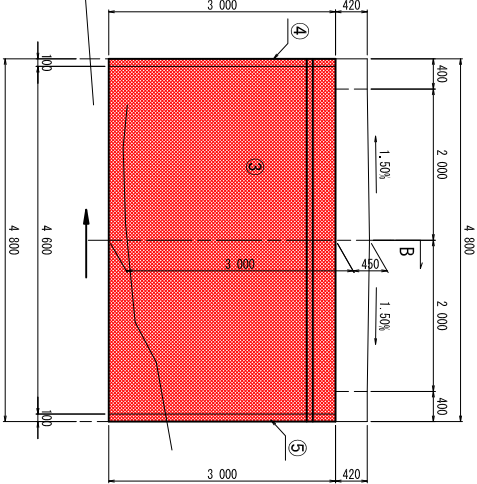


断面修復工(乾式吹付工法)

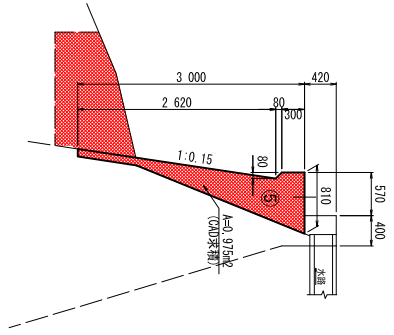
ポリマーセメント(亜硝酸リチム混)

A2橋台

正面図

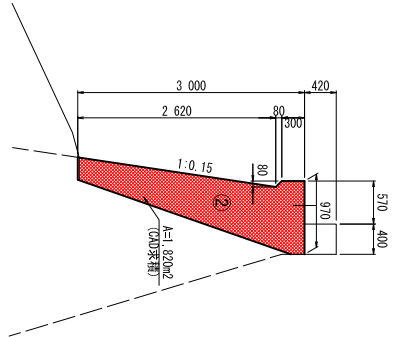


上流側
側面図

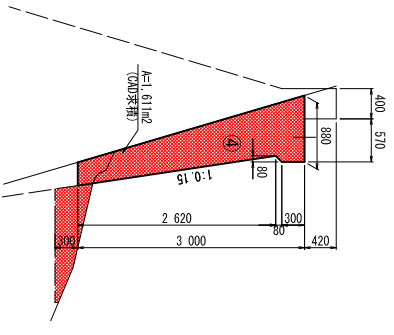


S=1:50

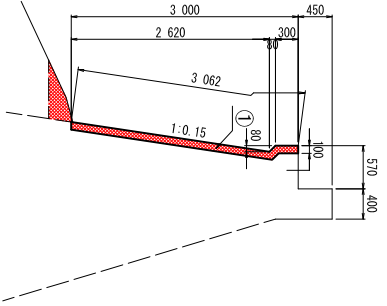
下流側
側面図



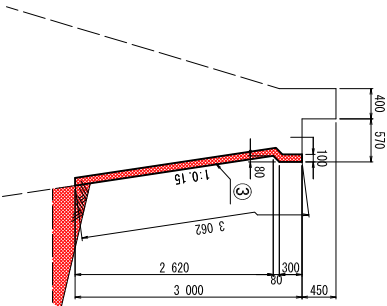
下流側
側面図



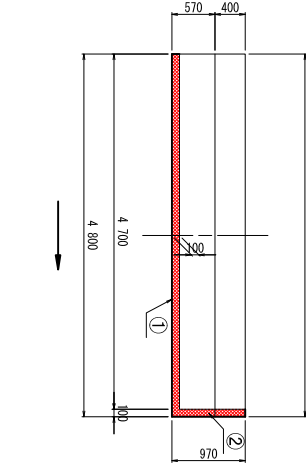
A - A



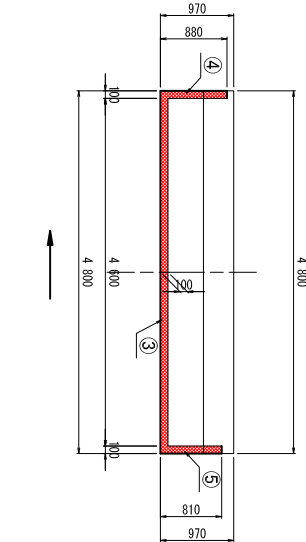
B - B



平面図



平面図

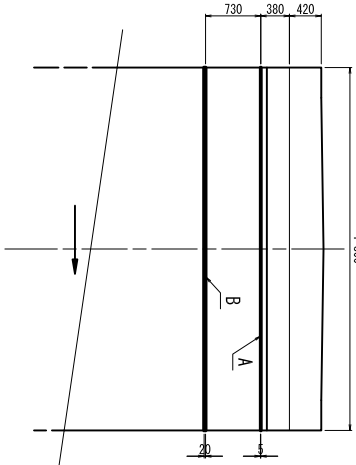


打継補修工(注入工法)

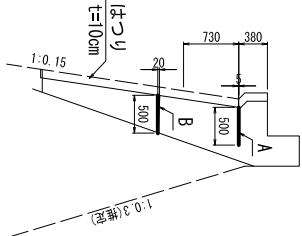
A1橋台

注入樹脂：IPH-E-396H

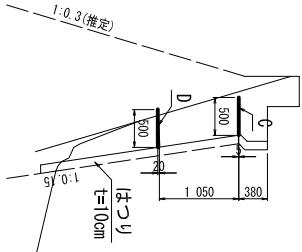
正面図



断面図

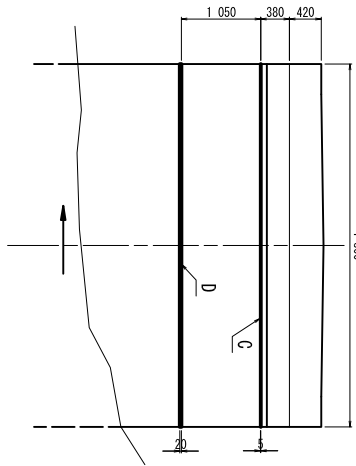


断面図



A2橋台

正面図



吹付工 数量表					
記号	計算式	面積 m ²	厚さ m	体積 m ³	
A1					
①	3.062 × 4.700	14.391	0.100	1.439	
②		1.820	0.100	0.182	
小計				1.621	
A2					
③	3.062 × 4.600	14.085	0.100	1.409	
④		1.611	0.100	0.161	
⑤		0.975	0.100	0.098	
小計				1.668	
合 計		32.882		3.289	

注入工 数量表					
記号	奥行 m	長さ m	高さ m	くさび形	体積 m ³
A1					
A	0.500	4.800	0.005	1/2	0.006
B	0.500	4.800	0.020	1/2	0.024
計					0.030
A2					
C	0.500	4.800	0.005	1/2	0.006
D	0.500	4.800	0.020	1/2	0.024
計					0.030
合 計		19.200			0.060

※躯体背面勾配は推定

実施図

令和8年度 口宮の沢橋補修工事			
第 3	7	下部工補修図(2)	図示
村道須原段上線 口宮の沢橋			
木道部 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技研		
測量会社			
調査会社			
大桑村役場			

※打継補修範囲は、奥行50cmくさび形と仮定する。

※先行注入-ケミカルポンプ注入：V=0.06m³

2次注入-低圧注入

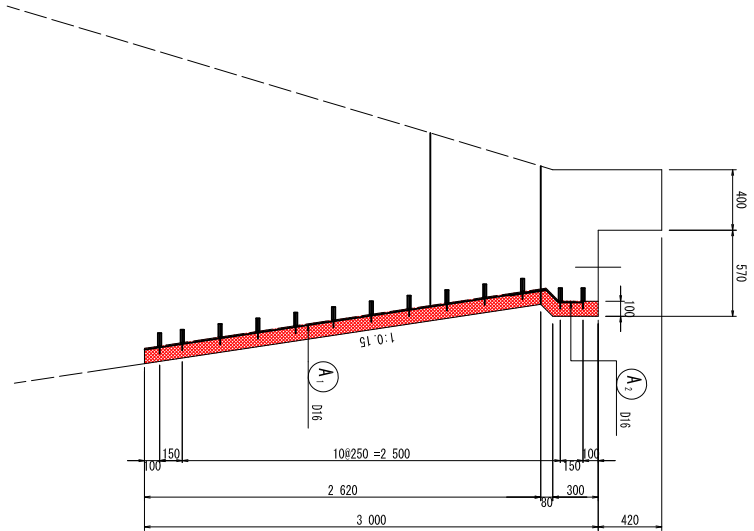
1:1=19.2m

口宮の沢橋 下部工補修図(3) S=1:25

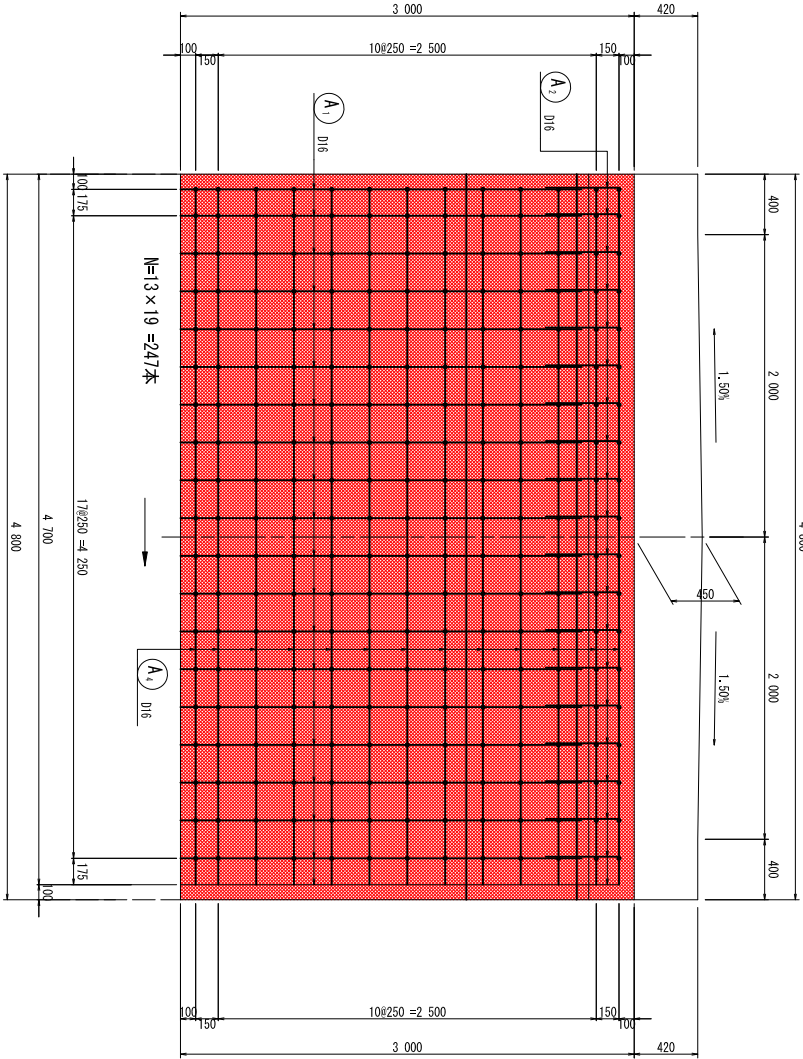
A1橋台 配筋工

※躯体背面勾配は推定

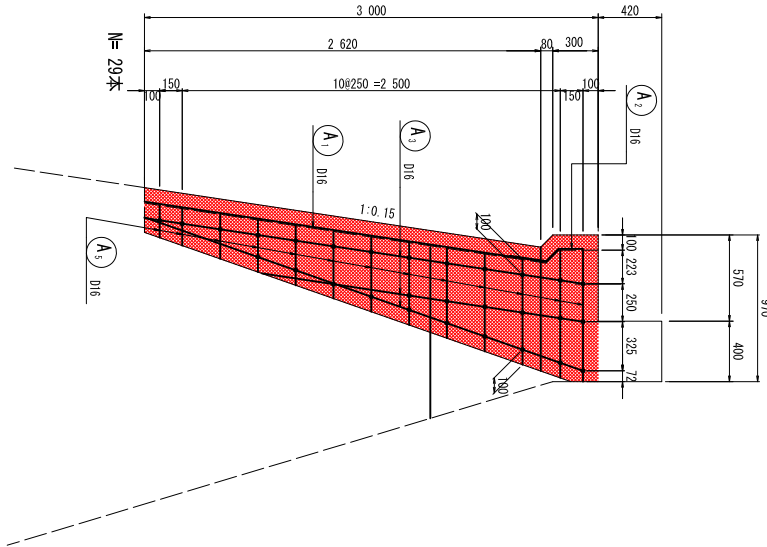
上流側
側面図



正面図

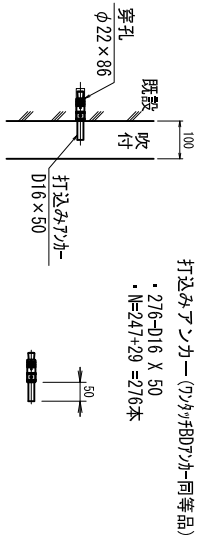


下流側
側面図



打込みアンカー

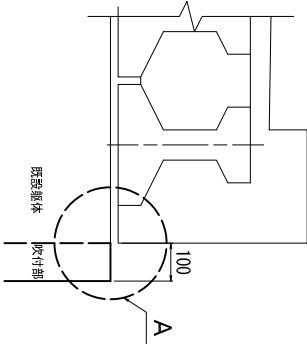
S=1:10



橋座面仕上げ詳細

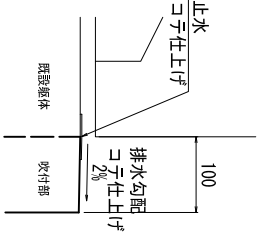
吹付部上面

S=1:10

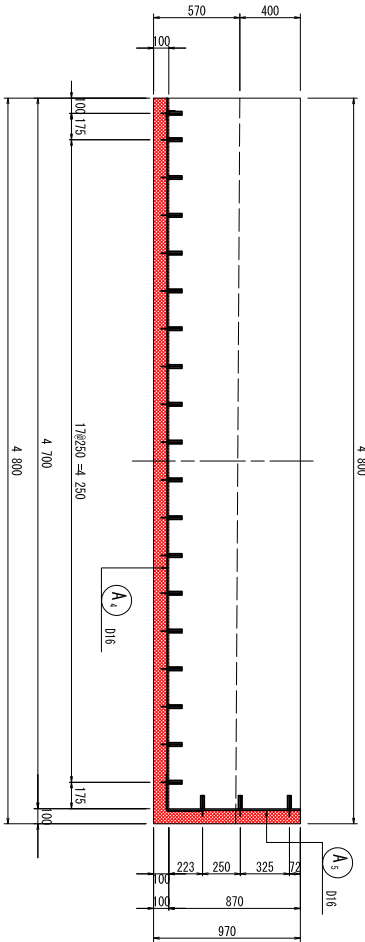


A部

S=1:5



平面図



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一基当り質量	質量	備 考
A1	D16	2 680	20	1.55	4.20	84	┐
A2	D16	520	20	1.55	0.81	16	┐
A3	D16	2 540	3	1.55	3.96	12	┐ (平均値)
A4	D16	4 840	13	1.55	7.55	98	┐
A5	D16	790	13	1.55	1.23	16	┐ (平均値)
226 kg							
合計 D16 (S345)							226 kg
総質量							226 kg

実施図

令和8年度 口宮の沢橋補修工事			
審	4 / 7	下部工補修図(3)	図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋			
大桑郡 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技研	測量会社	
調査会社			
大桑村役場			

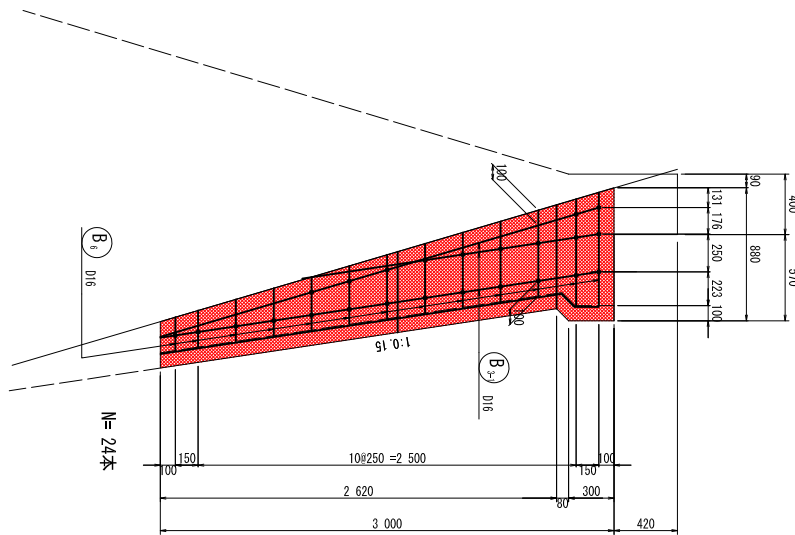
口宮の沢橋 下部工補修図(4)

S=1:25

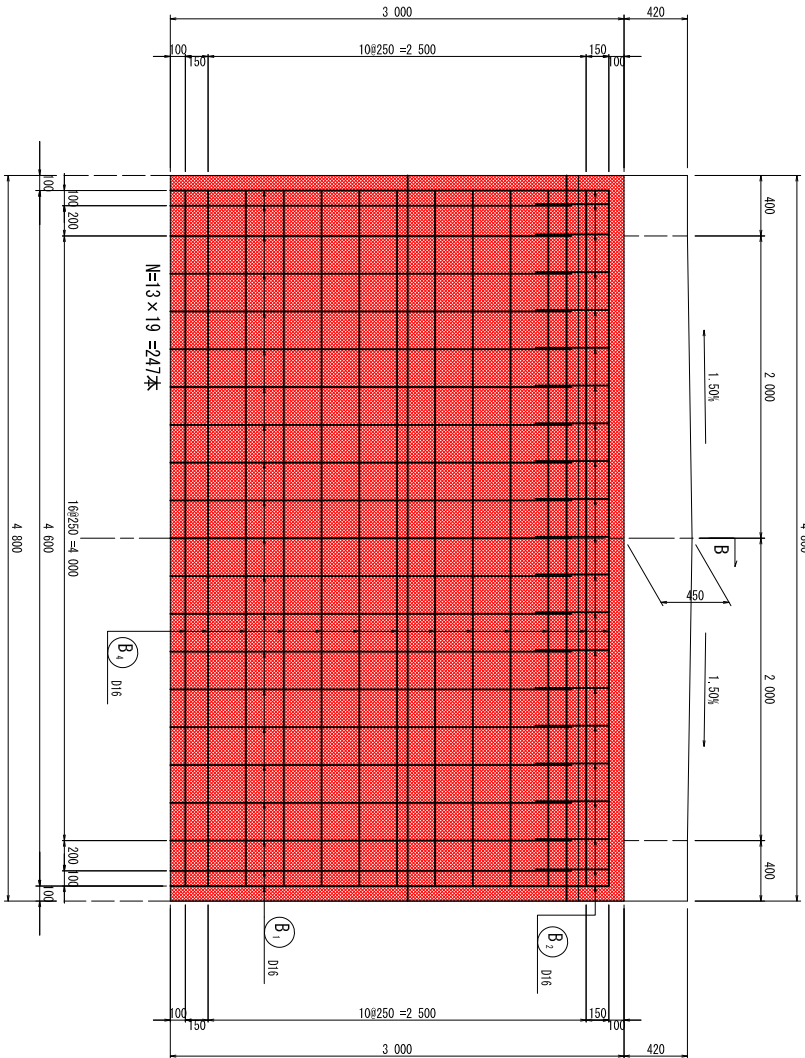
A2橋台 配筋工

※躯体背面勾配は推定

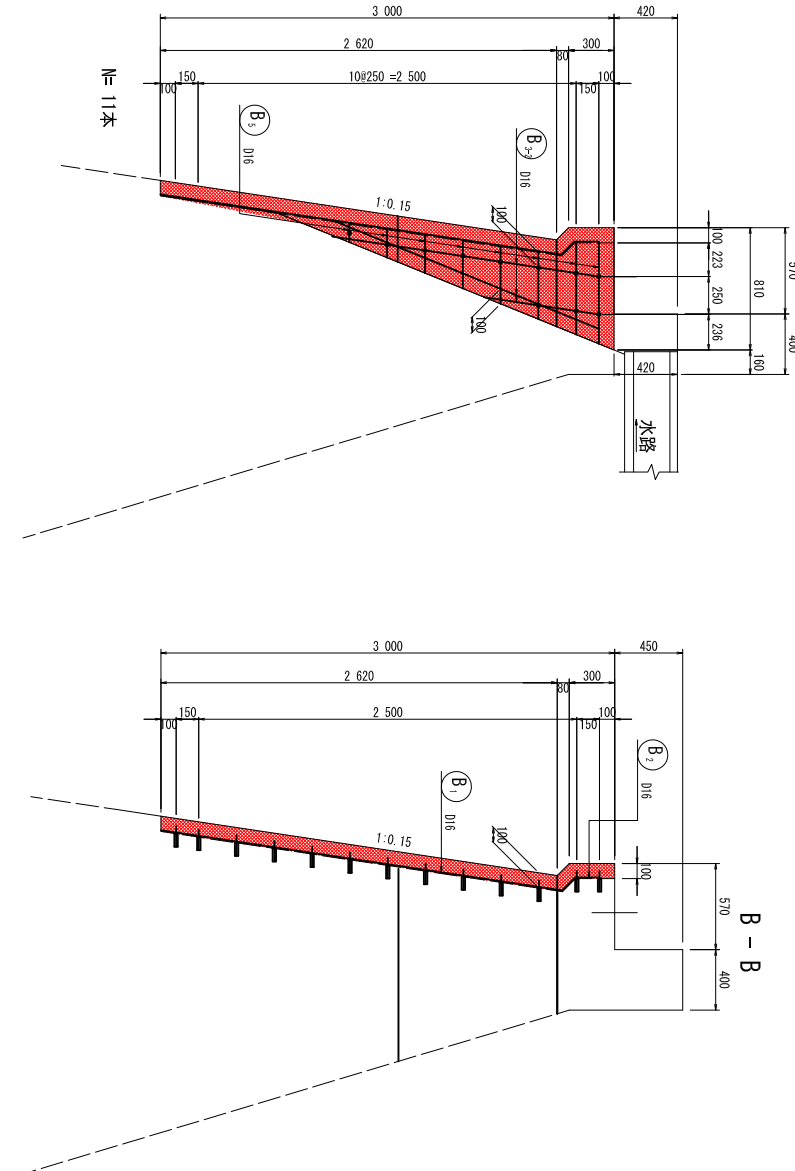
下流側
側面図



正面図

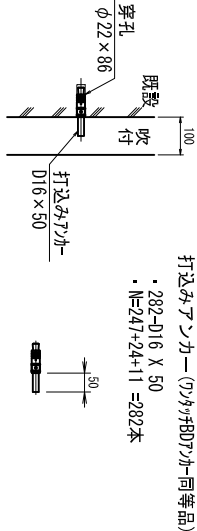


上流側
側面図



打込みアンカー

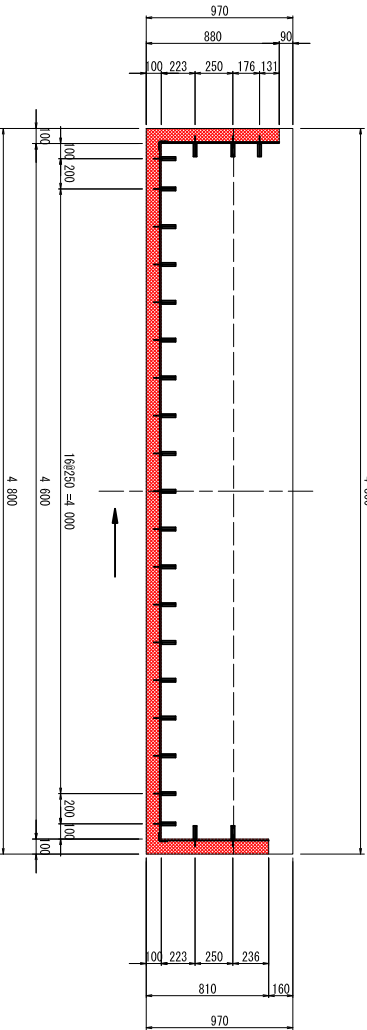
S=1:10



打込みアンカー(7ヶ所)80ヶ所同等品)

・282-D16 X 50
・N=247+24+11=282本

平面図



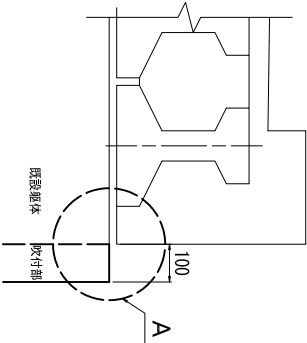
鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B-1	D16	2 690	21	1.56	4.20	88	┐
B-2	D16	520	21	1.56	0.81	17	┐
B-3	D16	2 510	3	1.56	3.82	12	┐ (平均長)
B-3	D16	1 340	3	1.56	2.09	6	┐ (平均長)
B-4	D16	5 080	13	1.56	7.82	103	┐ (平均長)
B-5	D16	640	8	1.56	1.00	8	┐ (平均長)
B-6	D16	730	13	1.56	1.14	15	┐ (平均長)
合 計						249 kg	
総質量						249 kg	

橋座面仕上げ詳細

吹付部上面

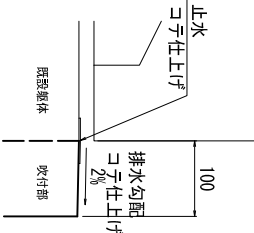
S=1:10



A部

S=1:5

※橋座面全周コテ仕上げ



B-1 27-D16 X 2 690

B-2 37-D16 X 2 510 (平均長)

B-3 37-D16 X 1 340 (平均長)

B-4 27-D16 X 520

B-5 87-D16 X 640 (平均長)

B-6 177-D16 X 730 (平均長)

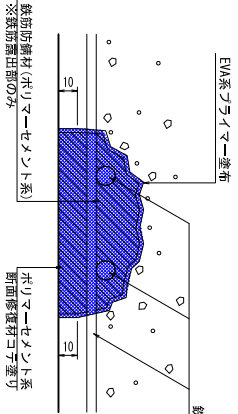
実施図

令和8年度 口宮の沢橋補修工事			
番号	5 / 7	下部工補修図(4)	図示
村瀬須原駅上線		口宮の沢橋	
木曾郡 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技研		
測量会社			
調査会社			
大桑村役場			

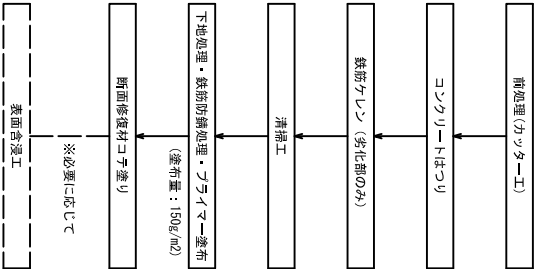
口宮の沢橋 コンクリート補修工標準図

断面修復工

＜左官工法＞



施工手順



注）1.劣化、不良コンクリートのハツリは、フェザーエッジが生じないように及び健全面に損傷を与えないよう、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切斷目地を入れ、入念に施工する。

2.使用材料 ー 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針（案）
（工法別・マニュアル編）」H17土木系Ⅲ」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

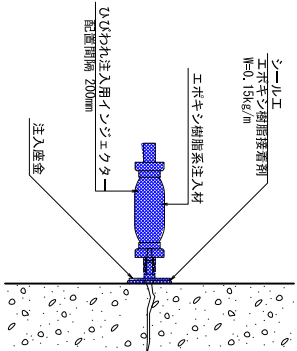
力学的性能	
設計および施工条件	
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること （圧縮強度は、特記仕様書による）
付着強度	躯体コンクリートと一体となること （1.0N/mm ² 以上）

3.鉄筋露出部は、ハツリ出して鉄筋の防錆処理後、ハチ補修する。
剥離・ジャンカ部は、浮き、脆弱部分をハツリ取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面をハチ補修する。
鉄筋が大きく露食している箇所の補修が策は、監督員との協議により決定する。
補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れる。
使用する補修材は、コンクリートとの一体化がよく、同等の強度および熱膨張係数を有する材料を選定する。
補修箇所の寸法は、現場計測にて再度確認すること。

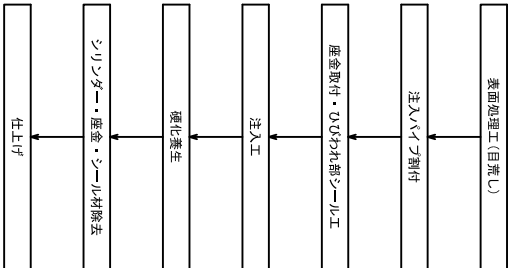
鉄筋コンクリート補修用防錆材の品質基準	
項目	基準値
弱アルカリ性	差面に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ （N/mm ² ）	7.0以上
処埋部	防せい率：50%以上
防せい性	未処埋部 防せい率：一10%以上 ※

※未処埋部の防せい率は、防せい材で処理することによって、マクロセルを形成し、基材間の鉄筋腐食を促進するようなものであつてはならず、は処理モルタルの発生量とほぼ同等以下とし、発生量で+10%以下（一防せい率で一10%以上）とした。

ひび割れ注入工



施工手順

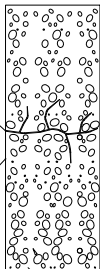


注）・ひびわれ注入深さは、50mmを想定しているが、ひびわれ最深部まで薄層に注入すること。
・注入パイプの間隔は、200mm程度とする。

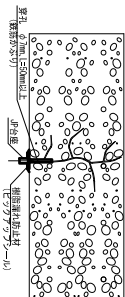
・ひびわれ注入箇所については、足場架設後、再調査し、施工箇所を決定すること。
・注入材料は、可とう性注入用エポキシ樹脂で、国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材の適合材を使用すること。

IPH工法

1. 下地サンディング・ローキング
W80（45°）吸塵がけにより汚損面を研削し、
汚損の取除を確認する。
注入マシンのセッティングする。

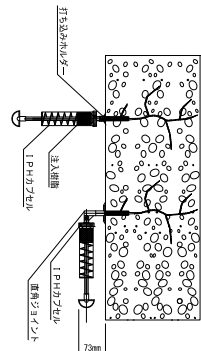
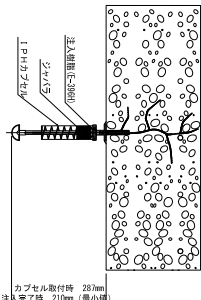


2. 穿孔・台座取付・樹脂漏れ防止
IPHはけで注入マシンの取除する。（5ヶ所/m）
JP台座をどリッパで取り除く。
注入口以外の汚損部分をどリッパで取り除く。
※通気性を要する場合は、リッパで取り除く。

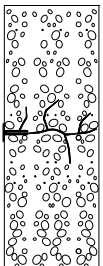


3. 樹脂注入

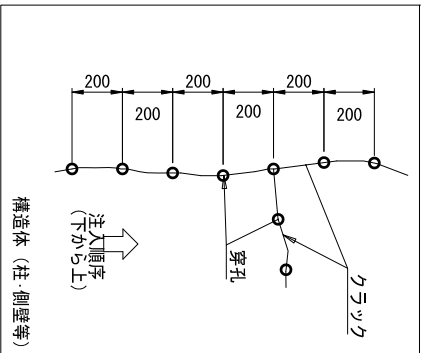
JP台座にIPHがけを取付、リッパで注入マシンの取除する。
リッパで注入マシンの取除する場合は、2本目に取除する。
その後、注入硬化まで加工養生する。
※通気性を要する場合は、リッパで取り除く。



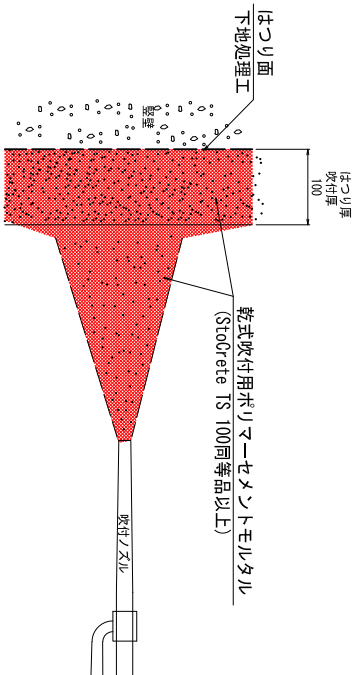
4. IPHカセル・JP台座撤去、清掃
IPHがけとJP台座、漏れ止め材を撤去する。
W80（45°）吸塵がけで平滑にし、清掃を行い完了とする。



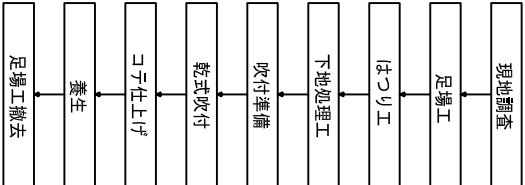
ひび割れ部 正面図



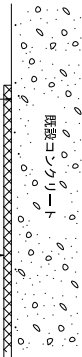
断面修復工（乾式吹付工法） 参考図



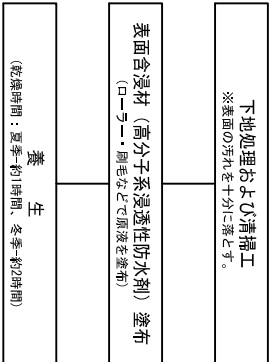
※護岸工境界・堅壁下面は、カッター目地を入れること
※はつり吹付範囲は、現地を計測し、監督員と協議の上決定すること
※はつり後、既設鉄筋さび落とし工、防錆材塗布工を実施すること（80m/m²として計上）



表面含浸工



施工手順

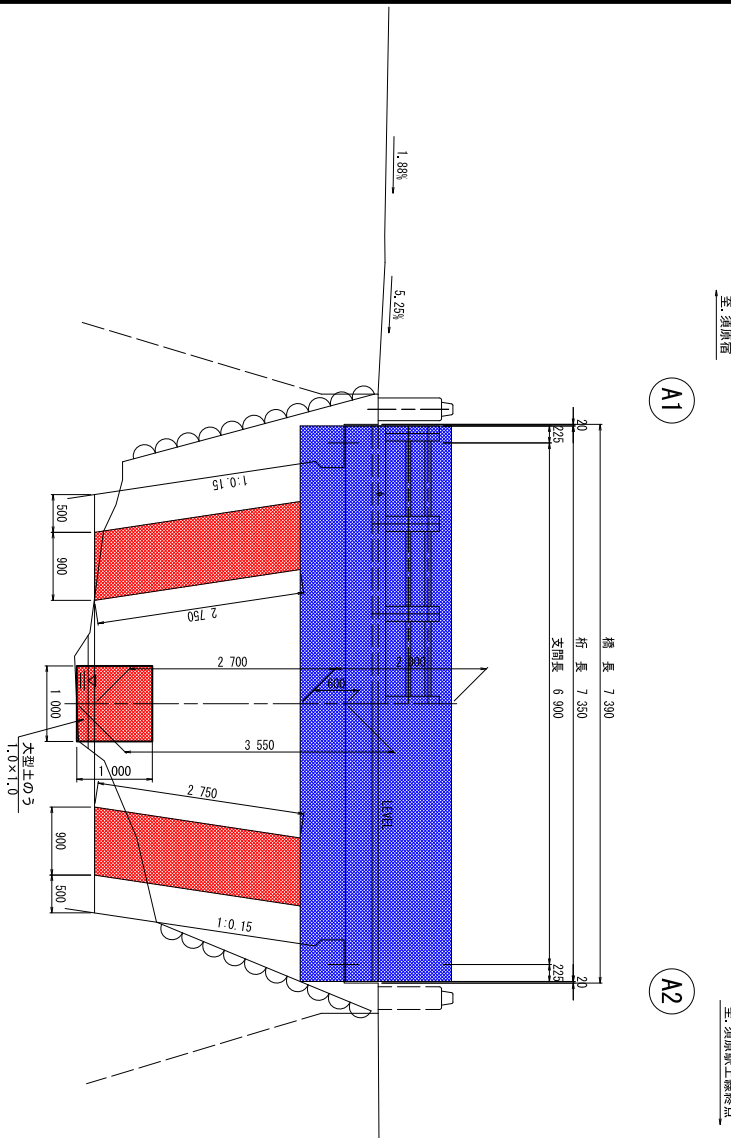


実施図

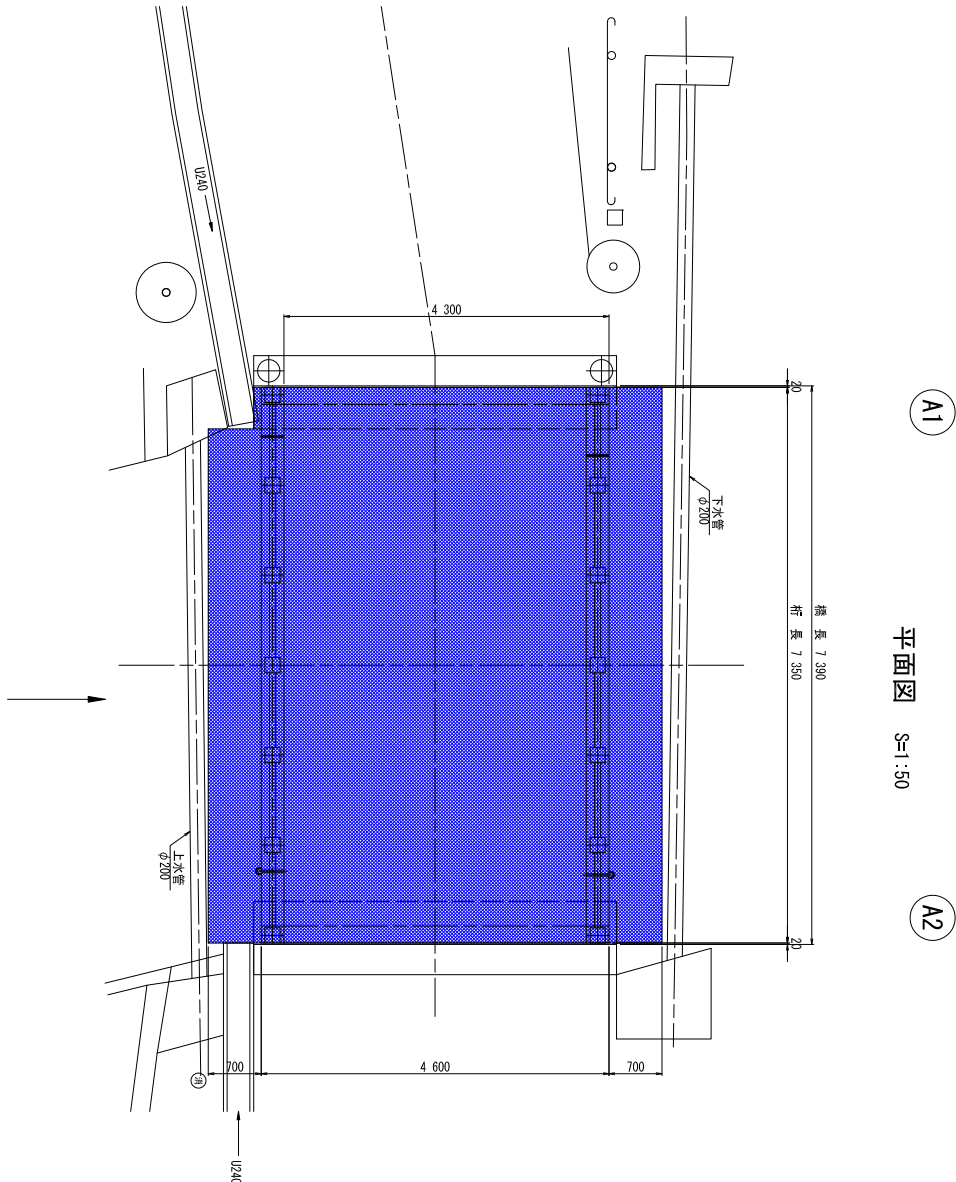
令和8年度 口宮の沢橋補修工事			
第	6	7	図示
村道須原段上線 口宮の沢橋			
大桑村 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技術		
測量会社			
調査会社	大桑村役場		

口宮の沢橋 仮設計画面図(参考)

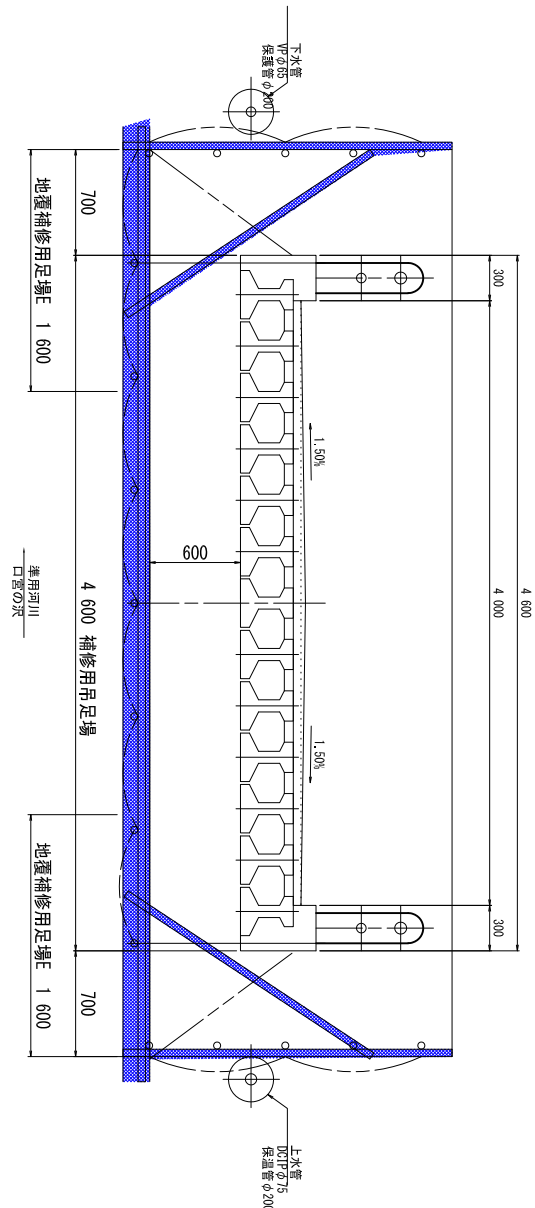
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:25



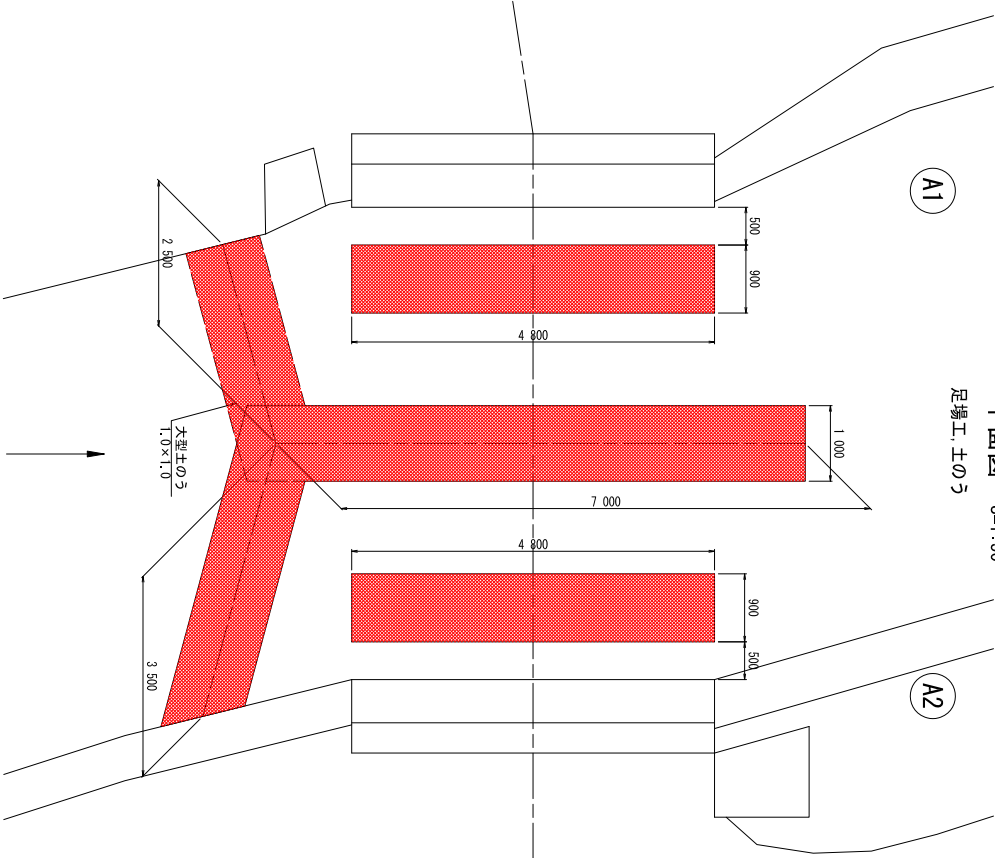
吊足場 数量表			
長さ(m)	幅(m)	数量(箇所)	面積(m ²)
7.35	4.60	1	33.8
		計	33.8

地覆補修用足場タイプE 数量表			
長さ(m)	幅(m)	数量(箇所)	面積(m ²)
7.35	1.60	2	23.5
		計	23.5

単管傾斜足場 数量表			
高さ(m)	幅(m)	数量(箇所)	面積(m ²)
2.75	4.60	2	25.4
		計	25.4

- 大型土のう (A1, A2共通)
- ・1段-1.0×1.0
 - ・L=7.0, 3.5 =10.5m
 - ・N= 12段

平面図 S=1:50



- 凡例
- 吊足場
 - 単管傾斜足場
 - 大型土のう

※施工は、湯水期に行うこと。
※土のう高は、水量に応じて監督員と協議を行うこと。

参考図

令和5年度 口宮の沢橋修繕計画業務			
第 7 / 7	仮設計画面図	欄 尺	図示
村道須原駅上線		口宮の沢橋	
不肖部 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技研		
測量会社			
調査会社			
大桑村役場			